

## 「まちづくり」と「航海」

わたしたちは、2050年に本市が目指すまちの方向性をとりまとめた「2050まちづくりビジョン」を策定しました。

その中で、まちづくりビジョンは「市と民間が将来に向かって同じ方向へと歩んでいくための羅針盤となるもの」と位置付けました。

でも、ふと考えました。

「羅針盤さえあれば、まちづくりはできるのか？」

そこで、「まちづくり」を「航海」に置き換えて考えてみました。

安全な航海には何が必要でしょうか。

まずは、船の乗組員がいなければ、目的地を目指して航海することはできません。乗組員には、船長、航海士、機関士、通信士など、様々な役割があります。

まちづくりに携わるメンバーにも同様に、土地や建物の所有者などの地元関係者をはじめ、商店のオーナー、不動産事業者、交通事業者、行政など、様々な役割を担うメンバーが必要です。

方位を指し示す羅針盤に加え、船を動かす様々な役割の乗組員・・・

でも、これだけでは目的地を目指すことはできません。

水深、海底地形など、航海のために必要な情報を示した「海図」です。

海図が無ければ、目指す目的地までの航路を決めることはできず、どんなに優秀な乗組員や精度の高い羅針盤があったとしても、安全で安心して航海を続けることはできないでしょう。

そこで、本行動指針では、まちづくりという航海に必要な海図の役割を担うものとして、官民が連携して取り組むべきことをとりまとめています。

羅針盤『2050まちづくりビジョン』と海図『行動指針』を手に、多くのメンバーとともに航海『まちづくり』を始めましょう。





## KOKURA

【小倉地区】

## KUROSAKI

【黒崎地区】

## HIGASHIDA

【東田地区】



発行日: 令和4年5月

発行者: 北九州市建築都市局都市再生企画課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL 093-582-2502/FAX 093-561-7525

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ken-to/08100124.html>